



季節のように生きる。

雨の日は雨を聞く。雪の日は雪を見て、夏には夏の暑さを、冬は身の切れるような寒さを。五感を使って、全身で、その瞬間を味わう。

「お茶」の魅力に気付き、惹かれていった女性が体験するのは、静かなお茶室で練り広げられる、驚くべき精神の大冒険。

黒木華、樹木希林、多部未華子の初共演で贈る、

一期一会の感動作がここに誕生。

にちにち
これこうとつ

日は是好日

黒木華 樹木希林 多部未華子

原田麻由 川村紗也 滝沢恵 山下美月

郡山冬果 岡本智礼 荒巻全紀 南一恵

鶴田真由 鶴見辰吾

監督・脚本・大森立嗣

原作・森下典子「日は好日」「お茶」が教えてくれた15のしあわせ（新潮文庫刊）

プロデューサー 吉村知巳 金井隆治 近藤貴彦 撮影 榎憲治 照明 水野研一 美術 原田廣生 堀明元紀
録音 吉田憲義 装飾 田口貴久 衣裳 宮本まき江（ヘアメイク）豊川京子 音響効果 伊藤進一 編集 早野亮
ステルニニ木匠宏 助監督 小南敏也 森井勇佑 制作担当 飯塚香織 ラインプロデューサー 伊達真人 題字 赤松陽博
製作「日は好日」製作委員会（ビネット テレビ東京 東京テトル パルコ 朝日新聞社 TBSラジオ テレビ大阪
イオンエンターテイメント カラーパード ベンチャーバンク ハーベストフィルム グランマーブル ヨアケ
製作幹事（ビネット） ヨアケ 製作プロダクション ヨアケ ハーベストフィルム 特別協賛 カジワロ グランマーブル
応援 表千家不審庵 特別協力 花博 ホマド ヨガスタジオLAVA 配給 東京テトル ヨアケ
www.nichinichi.jp © 2018 三日月プロダクション 製作委員会

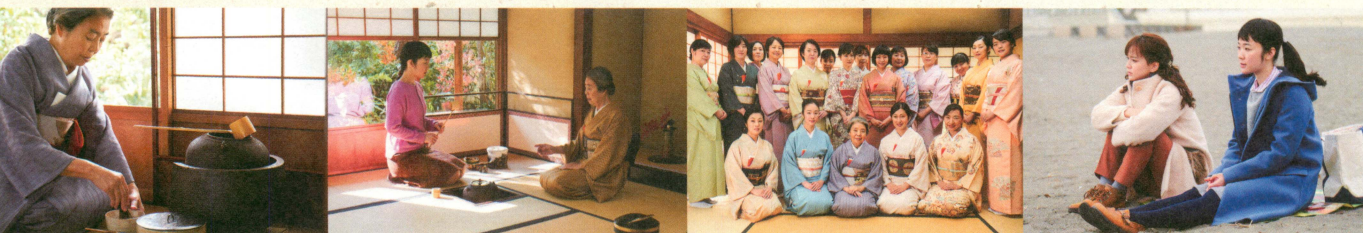




今を生きる喜び。誰もが味わえる本当の自由。

「人生のバイブル!」多くの読者を救ったロングセラー・エッセイを映画化!

原作は人気エッセイスト、森下典子が茶道教室に通う20年の日々を綴ったロングセラー。瑞々しく描かれる心象風景や青春像、そして「お茶」がもたらす人生訓的な“気づき”の数々は、茶道経験者の枠を越え、様々な岐路に立つ読者にとって心の拠り所となっている。主人公、典子を演じるのは黒木華。その卓越した演技力で、一人の女性の人生をたおやかに演じる。監督・脚本は大森立嗣。初タッグとなるこの二人によって描き出される時の流れは、美しく、そして儂い。武田先生を演じる樹木希林は「習い事の先生」という枠を大きく超えた人生の師匠として、大きな包容力で典子たちを導いていく。そして、典子のいとこ・美智子役の多部未華子が、お茶室に飾られる一輪の花のように映画に彩りを与え、静かな物語に躍動感を与える。日本映画界屈指の実力派キャスト・スタッフで贈る、一期一会の感動作がここに誕生した。



日日是好日——
それはお茶が
教えてくれた幸せ。

真面目で、理屈っぽくて、
おつちよこちよこ。

そんな典子（黒木華）は、

いとこの美智子（多部未華子）と

ともに「タダモノじゃなし」と

噂の武田先生（樹木希林）の

もとで「お茶」を

習う事になった。

細い路地の先にある

瓦屋根の一軒家。

武田先生は挨拶も程々に

稽古をはじめが、

意味も理由もわからない

所作にただ戸惑うふたり。

「お茶はまず「形」から。

先に「形」を作っておいて、

後から「心」が入るものなの。」

と武田先生は言うが――。

青春の機微、就職の挫折、

そして大切な人との別れ。

人生の居場所が

見つからない典子だが、

毎週お茶に通い続けることで、

何かが変わっていった……。

にち
これこうつ

日日是好日



世の中には「すぐわかるもの」と「すぐわからないもの」の二種類がある。

すぐわからないものは、長い時間をかけて、少しずつ気づいて、わかってくる。

子供の頃はまるでわからなかったフェリーニの『道』に、今の私がとめどなく涙を流すことのように。

10月13日(土) シネスイッチ銀座、新宿ピカデリー、
渋谷シネクイント、イオンシネマほか 全国ロードショー